

養心

第2号

2007年7月31日発行
楊名時太極拳養心会
発行人 楊 麻紗
事務局
〒164-0003
東京都中野区東中野
1-11-16-508
TEL 03-3365-5868
FAX 03-3365-5118
ホームページ
www.taikyokuken.jp

題字 楊 名時先生

養心会三つの心

争わない心
拘わらない心
焦らない心

楊名時先生三回忌追悼大会

好天に恵まれました六月二十三日、楊名時先生の三回忌追悼大会が、東京の京橋プラザで開催されました。楊名時先生に一分間の黙祷を捧げた後、大会が始まりました。天井が高く明るい会場には、追悼大会に相応しく終始穏やかな気が満ち、大会を成功に導きました。



楊名時先生の大好きだった二段錦

■命のエネルギー

日本ホリスティック協会会長 楊津 良一

楊名時先生とは、ひと月に三度くらい一箱にお酒を呑んでいました。先生には酒品があり、私も感化されました。作家の山口瞳氏の「酒場は男が品性を磨く道場であり戦場でもある」という言葉がありますが、実感として受けていました。先生が亡くなられた後も自然に先生のご自宅へ足が向いてしまいい、近くの酒場へ通ったりもしていましたが、今は自分の病院の食堂で、仕事を終えた後、先生をお側に感じて毎晩呑んでいます。

昨年モンゴルへ行つたときも、朝もやの中、丸い太陽に遠くあの世が見えて、その中に間違いない先生のお姿をチラチラと感じました。さて太極拳、健康についていえば、二十一世紀は命に焦点を当てる時期に入っています。体だけに焦点を当てる未病という考えから、日々、体のエネルギーを向上させる命のレベルというのを考えなければいけません。メタボリックシンドロームも、体だけのことをターゲットにしている、命の姿を見つめていけません。



ご講話をされる楊津良一先生

五木寛之氏との対談の本「健康問答」を出した直後、漢方の分野で活躍している後輩ながら尊敬している先生より、納費の手紙を頂きました。その中で「健康問答」を出した直後、漢方の分野で活躍している後輩ながら尊敬している先生より、納費の手紙を頂きました。その中で「健康問答」を出した直後、漢方の分野で活躍している後輩ながら尊敬している先生より、納費の手紙を頂きました。

を頂き大変嬉しく思っております。その中にウイルスや細菌を敵と思わないで、仲間として取り込むということが書いてありました。五木氏との対談でも、なるべく手や体を洗わないということが書いてあります。自然と一体にならなければいけないということです。自然界を仲間とみればいいわけです。自己と非自己を分けずに取り込むことも必要です。たとえ概念的に分けても、そのあとに手を結んで虚空へ向かって解放されればよいのです。つまり命のエネルギーを日々高め、常に向上していくということになります。それは人相に出てくるようです。人相の良い人は健康であるといえます。

命のエネルギーを日々高めるために、我々には心を込めて太極拳を行う、これが一番大切かと思えます。生きていく間は修業はした方がよいのですが、人と差をつける必要はなく、一歩出ればいいのです。いい人生とはクライマックスがうまく完成されているような気がします。

先生の太極拳の指導がはじまりました。楊先生はその深いご厚意に感激され、中山先生が亡くなられたあとも、好物だったメロンを持ってずっと通われていました。その後、新宿の朝日カルチャーセンターの開講により、楊名時太極拳は全国へと広がっていききました。師と弟子の絆を考えると、本当に困った時に助けてくれる、心の深い方がいなければならない。楊先生は「これは分裂ではなく、発展である」と強くいわれました。意識を大きく広げて幸せになること、大きな宇宙の心で魂を磨く太極拳を目指していかねば、真の気功太極拳とはいえないのです。



教室担当講師の紹介

■師弟の絆

養心会主宰 楊 麻紗

楊先生と楊津先生が盃を交わしているお側にいるとお二人は心と心、魂と魂を通わせている感じがしていました。それは至福の時間でした。楊先生は最初、武道館で太極拳を指導されてきました。一人の武蔵を作るのではなく、万人の健康な人を作りたいと八年間一日も休まず通われていました。ある時、心ない生徒の中国の太極拳とは違うという暴言に、楊先生は顔色ひとつ変えず「和して同せず」という言葉を残し、去られてしまったのです。直後、空手の恩師である中山正敏先生のご厚意により、抱一齋道場で楊名



楊麻紗先生のお話に聞き入る

「楊名時先生の熱い思いが伝わりました」「迷いが消えました。参加してよかった」「楊名時太極拳の奥の深さに感動しました」「こんなに充実した研修会は、初めてです」

■指導者研修会

第一回目の指導者研修会は、五月二十七日に開かれました。真夏の暑い日でしたが、東京スポーツセンターの大会議室は参加者でいっぱい。養心会主宰の楊麻紗先生が、「楊名時太極拳の原点」というテーマでお話をされました。その後、実技（立ち方と運足）が行われ、幾つかのポイントを記します。

- 一人のチャンピオンを作るのではなく、万人の健康作りが太極拳を役立たせたこと。楊名時先生が四十数年前に明言その道を貫かれました。
- 楊名時太極拳の定義 楊名時太極拳とは、中国の伝統拳の楊家太極拳に日本の武道の技と精神、禅の心を融合させた健康法、養生法。
- 特徴として人と競わない、心を大切に、和を導く、動く禅、音楽をかける（原則として）稽古は道徳と素足、白鶴の舞など上げられました。
- 指導者の資質として、太極拳の知識、指導技術、人間力（人柄）の三つが必要ですが、その中で最も大切なのは人柄。楊名時太極拳は人格を磨く教育です、と力説されました。

■草加から

五月十一日、埼玉草加で楊名時先生を偲ぶ会が、楊麻紗先生をお迎えして開かれました。二百名近い参加者があり、楊名時先生に感謝の念を捧げ、絆を確認し合った素晴らしい会でした。

偲ぶ会代表の小川睦子師範は、太極拳で病気を克服した人です。二十五年前に、草加で太極拳の指導を始められました。今では良き指導者がたくさん育っています。穏やかに、白百合のごと、師の演舞、浩子



(絵/杉崎昭子)

■癒しの風景



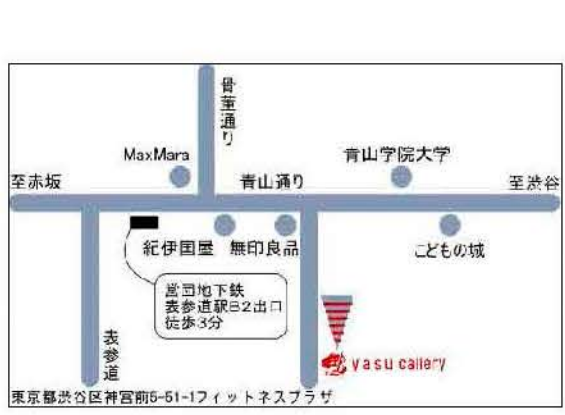
月下美人 夜中に月光の下で咲くといわれ、この名に付く。サボテン科の多年草で開花後数時間で凋む。別名、女王花。

●来年の一月五日新春稽古(場所未定)、二月十七日新年懇談会(東京赤坂プリンスホテル)が開かれます。

お知らせ 定例指導者研修会

今期は実技を中心に行わないので、二面ガラス張りのスタジオをお借りしました。前回と場所が変わりましたので、お間違いないようお願いいたします。

日時	第4回 9月9日(日) 第5回 10月28日(日) 第6回 11月25日(日) (12月・1月・2月はお休みします) 13:30~15:00
場所	フィットネスプラザ 地下2Fダンススタジオ 東京都渋谷区神宮前5-51-1 (地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線表参道駅) TEL 03-5485-5330
会費	2,000円 当日受付
服装	道着、又はTシャツとズボン 上履持参
テーマ	実技(型の品格)
資格	奥伝以上



ホームページ用原稿募集!!

ホームページを更に充実したいと思っております。各地の行事、情報、レポート、写真等、事務局までお寄せ下さい。

●ホームページアドレス●
<http://www.taikyokuken.jp>

下村のぶ子 2万円
市川 寿子 2万円
草加・偲ぶ会 3万円
寄付を頂きました。

【編集後記】
楊名時先生がお亡くなりになってから、早や二年が過ぎました。第二号は楊名時先生の三回忌追悼大会の特集です。紙面を涼しい色にしました。いよいよ夏本番です。皆様、お体ご自愛下さい。投稿をお待ちしております。